

お口の健康

第36回

骨粗鬆症と歯科治療（後編）



前回に引き続き、骨粗鬆症と歯科治療についてのお話です。骨粗鬆症と診断され『ビスフォスフォネート製剤』（B P製剤）を使用することになった場合、必要な歯科治療を事前に済ませから使用を開始した方がよいとされています。入れ歯も歯肉に食い込んでいたり、過度に当たりがある状態では副作用の顎骨壊死えしを起す危険性がありますので治しておきましょう。特に口の中が不潔な状態では病状が悪化しやすくなりますので、日頃からの管理が大切です。

B P製剤を使用しても歯石除去、虫歯治療、入れ歯治療などの通常の処置は可能です。もし、抜歯などの外科的処置が必要になった場合、B P製剤を3年以上使用している方や3年以内でもステロイド薬を併用されている方の場合は、骨粗鬆症治療の担当医と相談の上治療前3ヶ月は使用中止し、処置後も骨の回復を確認してから使用を再開します。しかし、まだ未解明の部分も多いため、抜歯などの外科処置は極力避けることが一般的な対策とされています。

骨粗鬆症の方は歯を支える顎の骨がスカスカ



骨粗鬆症の方ほど、定期健診とプロによるお口のケアが重要になります

なっていることから、歯周病と骨粗鬆症の重複進行で非常に危険な状態を招くことになりま
す。予防のためには食事や運動などの生活習慣
の改善として以下の問題に注意しましょう。
① 偏食によるカルシウム不足 ② 運動不足 ③
過度の喫煙や飲酒 ④ ストレスや過労 ⑤ 無理
なダイエット ⑥ 適度に日光浴する
歯科からみた予防対策としては日常生活で、
良く噛んで食べることや毎食後のブラッシング
をしっかりと行うなどの基本的予防法はもとより、
歯科医院での定期検診やメンテナンスも大切で
す。もし、虫歯や歯周病の進行が確認されたな
ら早めに治療と予防対策を開始しましょう。

湯沢市・雄勝郡
歯科医師会

ホームページ：
[http://www.yutopia.
or.jp/~yoda/](http://www.yutopia.or.jp/~yoda/)